

# 2015年11月の供給レポート



## 水都おおさか森林の市 秋晴れに恵まれ2万人来場

近畿中国森林管理局が中心となって結成する実行委員会主催の「山の日制定記念・水都おおさか森林の市」が秋晴れに恵まれた10月4日、毛馬桜ノ宮公園周辺で開催され、各地から2万人を超す大勢の家族連れが集まり、終日木に親しみました。来年から8月11日が「山の日」になります。

(2015年10月20日 東洋木材新聞記事から抜粋)



## 秋の山、安全に楽しむには

### 疲労で判断力低下、危険招く 水分不足・低体温症に注意

#### 山で事故を起こさない4つのポイント

1. 体の準備（登る前に体調を整える）
  - ・寝不足、飲み過ぎ、食事抜きはケガ・事故のもと
  - ・普段から足の筋力をつける
  - ・歩く速さは平地の半分。歩幅は肩幅以下に
2. 計画立案
  - ・地形図を見て、どこから登り、どこに下りるか決める
  - ・等高線の間隔で傾斜を見極める（狭いほど急）
  - ・植生、岩、砂れきなど地表の様子をチェック
  - ・3日前から天気を把握
3. 絶対必要な3つの装備（水、食べ物のほかに）
  - ・雨具（防水、防風、防寒になる）。体温の変化は体力を奪う
  - ・地形図とコンパス（磁石）
  - ・軽量のヘッドランプ
4. 登山届
  - ・日本山岳ガイド協会の「Compass（コンパス）」システムはオンラインで登山計画がだせる
  - ・計画作成は万が一のシュミレーションにつながる

(2015年10月31日 日本経済新聞記事から抜粋)



## 今月の木の話

## 木材の比強度は鉄よりも高いのか

木材と鉄を単純に比較すると、鉄のほうが高いことは確かです。

しかし、比重（密度）もまた鉄の方が高いので、強度を比重で割った値（比強度）で比較してみると、木材の方が高くなります。つまり、「木材の方が鉄よりも軽い割には強い」と言えます。

しかし、木材の場合、繊維直交方向の強度が繊維方向の10分の1から20分の1にまで低下します。繊維直交方向では、木材の比強度は鉄鋼より一桁低い値です。

また、せん断強度（断ち切ることに耐える限界の強度）を比重で割った値の比せん断強度は、木材は鉄鋼の6分の1程度です。

木材はせん断や繊維直交方向の強度が低いので、強くて粘りのある接合部を作るのが困難です。（日刊木材新聞社発行「今さら人には聞けない木のはなし」より抜粋）



## TPP 価格はこうなる 木材

### 輸入合板、競争力増す 関税撤廃までセーフガード

環太平洋経済連携協定（TPP）発効後、型枠や住宅部材の合板の輸入量が増加する可能性があります。マレーシア産の主要品で発効時にまず関税が半減します。

2014年の国内の合板の内需は約630万m<sup>3</sup>で輸入は55%。輸入量が最も多いのはマレーシア産で、2014年に合板の全輸入量の4割となる1,462,583m<sup>3</sup>の輸入がありました。

マレーシア産合板にかかる関税は現在、木の種類で6～10%と幅があります。発効時にはまず半分に下がり、15年間横ばいで推移。16年後に撤廃します。

セーフガードが発動される輸入量は、1年目が年間1,044,000m<sup>3</sup>。年々徐々に増え15年目は1,336,000m<sup>3</sup>。

現在の価格水準で関税が半分になると、輸入品は60円程度安くなる見込み。一方で、TPPが発効してすぐには輸入品価格が大きく下がらないとの見方も。マレーシアで丸太の伐採が制限され、合板の生産量が減り、現地価格は高止まりしています。

輸入量が一定量を超えると、関税が発効前の水準に戻るセーフガード措置も設けられています。OSB（オリエンテッド・ストランド・ボード）の関税5～6%は発効後11年目で撤廃。カナダ産はセーフガードが設けられ、関税は16年目で撤廃されます。（2015年10月29日 日本経済新聞記事から抜粋）